

第78回日本臨床眼科学会 モーニングセミナー15 (MS15)

2024年11月16日(土) 7:30~8:30

第11会場 (ザ・プリンス京都宝ヶ池 B2F プリンスホール2)

白内障手術における 《 痒いところに手が届く 》 デバイスを語る

～ I/A ハンドピース、排液用スポンジ ～

「医療は日進月歩」。その名の通り、眼科手術においても、手技の発展と共に医療機器も開発・改良が進み、様々な機器が導入されています。その機器をどう活用するか？ サージャンのベストパフォーマンス、患者の満足度にどう繋げるか？ 眼科手術の発展に寄与する要素の一つと考えます。

今回は、ロートニッテン社より発売されているユニークな医療機器について講演していきます。可変式 I/A ハンドピース 20G (MoonCycle I/A) は、吸引口の大きさを変えられる構造を有した眼科用灌流・吸引チューブであり、新製品のロートアイウィックはリントフリーの排液器具です。

今回のセッションでは、大木哲太郎先生に MoonCycle I/A の開発経緯と今後の課題について、鈴木久晴先生に実験的な後囊破損防御効果を検討するとともに、実際の臨床における MoonCycle I/A の有用な場面などを手術動画を含め解説していただきます。また私からは、ロートアイウィックを含め最近の手術の志向についてお話ししたいと考えています。このセッションが「日頃の手術への志向の一助」となり、「未来への貢献」となれば幸いと感じています。

座長/演者1

**米田 一仁** 先生医療法人さくらメディカル 理事長
昂会アイセンター 統括センター長

私の最近の手術へのこだわり

演者2

**鈴木 久晴** 先生

善行すずぎ眼科

MoonCycle I/A の実力と
後囊破損防御効果の実験的検討

演者3

**大木 哲太郎** 先生

大木眼科 / 東京慈恵会医科大学眼科

MoonCycle I/A 開発への
道のりと今後の課題

